

# 防災訓練で知る「自助」の大切さ！！

10月23日は西柴小地域防災拠点の防災訓練

- ◆防災訓練では、消火器の使い方、便利な防災グッズの紹介など防災に役立つ知識を得ることができます。また、「避難所ってどんなところ？」を実際に知っていただく良い機会です。
- ◆大地震が起きたとき、大雨になったとき、『いざとなったら避難所へ！』。そう思って、安心していませんか？
- ◆しかし、避難所の収容人員は限られ、食料や生活必要物資の備蓄量にも限度があります。
- ◆最近、より良い避難形態として、住民は**極力自宅避難で上手に乗り切り**、避難所はその支援拠点としての機能を充実することがクローズアップされてきました。

そしてそれを可能にするのは「自助」、すなわち各世帯での**日頃からの防災の備え**です。

たとえば、

- ① 自宅の耐震性の確認・補強
- ② 家具の固定など危険要素の除去
- ③ 水・食料の一定期間分の備蓄
- ④ 便利な防災グッズの用意 など



「自助」の取組みについては、

自治会の「防災ニュース」や「家庭防災マニュアル」でお知らせしています。自治会館にて「おすすめ防災グッズ」の紹介・展示をもしていますので、どうぞご活用ください。（ホームページにも掲載しています）

バンダナ・パトロールに積極的に参加を！！

- ◆防災訓練に合わせて**バンダナ・パトロール**（以下バンパト）の実施が計画されています。バンパトは大地震などで被災したとき、ご近所同士で安否を確かめ、必要があれば助け合って避難をするというもので、**すべての住民の方に身に着けてほしい地域防災の基本動作**です。バンパトでの安否確認訓練に加え、西柴小避難所への避難誘導訓練を実施します。地域防災拠点での防災訓練と連動することで、地区から避難所への避難行動を実際に体験し「避難所」についての理解をすることで、『自助』の大切さを実感していただけるはずで**一人でも多くの方が、バンダナ・パトロールと避難訓練に参加されるよう、願ってやみません。**